

大支援研ニュース

特別支援教育

平成23年10月11日発行
大阪府支援教育研究会
会長 藤原 義彦
(堺市立浅香山中学校長)

ホームページで
お知らせが
ある場合があり
ます

<http://daishienken.visithp.com/>

ニュースや本会活動への問い合わせ・ご意見は、Mailにて件名に「大支援研問合せ」など「大支援研」を入れてください。

jimukyoku2009@daishienken.visithp.com

アドレスをテキストで載せるとスパムメールが多数届いてしまうので、画像で張り付けてあります。

大支援研 創立60周年記念研究大会について（予告）

平成24年8月8日（水） 大阪国際交流センターにて

◇役員総会

第3回 日時：平成24年1月19日（木）午後3時～5時 : アウリーナ大阪 3階 信貴の間

2011年度 研修部主催 実技研修会 報告

8月1日、アウリーナ大阪において実技研修会が行われました。今年は象の会の3人の先生に教材の紹介をしていただいたのに加え、新たに寝屋川支援学校の小橋川先生にも講師を引き受けていただきました。前半4つ、後半4つに分かれての教材作成でした。添付の報告記事にそれぞれの教材作成の様子と、参加者がアンケートに書かれたことをまとめましたのでお読み下さい。

2011年度 行事事部主催 施設見学会報告《株式会社あしすと阪急》

8月18日（木）「株式会社あしすと阪急」は、平成17年（2005年）4月、将来にわたり阪急阪神ホールディングスグループ全体で障がいを持つ人の雇用機会を創出し、障がいを持つ人の雇用に取り組んでいく体制を構築することを目的に設立されました。場所は、阪急梅田駅にほど近い阪急本社ビル内にあります。

あいさつの中で、障がい者雇用を高めるため職域を増やすなど、社会参加の場を増やしていく事が企業の担う役割であると明言され、知的障がい、身体障がい、留まらず、精神障がい、発達障がいの方々にとってどんな職を提供していけるかを考えておられるということでした。会議室で説明の後、実際に働いている様子を見学し、その後質問に答えていただきました。詳細は添付記事をご覧ください。

研修のおしらせ

研修部 主催 冬季研修会 **一次案内添付**

平成24年2月4日(土) 会場 たかつガーデン 午前10時～午後4時
午前の講座(10時30分～12時30分) 午後の講座(午後2時～4時)
午前・午後 それぞれ いくつかのテーマ別講座を実施いたします。
詳しい内容は二次案内でお知らせします。

研究部主催 講演会 平成24年2月25日(土) 午後

講師 NPO法人 ラヴィータ研究所 子ども発達相談センター・リソース「和」所長 米田和子

各支部の行事紹介

摂津市支援学級 夏のキャンプ

7月24日から25日、神戸しあわせの村の野外活動センター『あおぞら』に、摂津市内の小中学校の支援学級の子どもたちと教師が集まりました。今年から小学校4、6年と中学校1、2年だけの参加となり参加者数が去年までよりも少なくなりましたが、天気に恵まれました。けがや病気もなく無事に終わりました。野外でのお弁当、プール、そして部屋での遊び、夕べの集いでのクイズやダンス、大きなお風呂、アスレチックなど、**詳細はHP**に写真付き記事をアップしておりますのでご覧ください。

東大阪市支援研 林間学舎

東大阪市 支援教育研究会が主催する一泊二日の林間学舎が6月14日(火)から6月23日(木)の間に、生駒山麓ふれあいセンターで、5ブロックに分かれて行われました。参加した児童・生徒数と引率者を合わせると、400名近くの者が校外学習を楽しみました。自然の中で散歩をしたり、虫とりをしたり、木々の中にあるアスレチックをしたりしました。**詳細はHP**に写真付き記事をアップしておりますのでご覧ください。

他団体からのお知らせ

大阪特別支援教育推進連盟

平成23年度実践記録論文の募集 **案内添付**

福祉施設・学校等で障害児(者)と共に歩んでいる方々の日ごろの実践のまとめについてA4版で本文を5000字程度にまとめて下さい。(ワープロ可) 写真、グラフ、図等の挿入も可です。
具体的な実践論文の書き方については、添付の案内を参照してください

締め切りは 平成24年1月13日(金)です。

2011年 実技研修会 報告



8月1日、アウリーナ大阪において今年の実技研修会を行いました。猛暑の中、今年も多くの方が熱心に参加されました。今まで同様、象の会の3人の先生に教材の紹介をしていただいたのに加え、今年は新たに寝屋川支援学校の小橋川先生にも講師を引き受けていただきました。学校の仕事で忙しい中、この研修のために教材作りのための下準備を入念にしていたいただいたこと、とても感謝の至りです。

前半4つ、後半4つに分かれての教材作成でした。参加された方みなさん熱心に制作されておられました。午後のみだったため少し時間が足りなかった、という声が多かったです。会場配置についてもご意見がありました。今後活かしていきます。

毎年、参加者の熱気あふれる実技研修です。講師の方の実践や思いを、教職員の私たちが、しっかり受け止め広げていけるようにしなければいけない、と思います。教えていただいたことをもとに、新たに実践を作り上げていくことが必要であり、それを交流できるようにしていきたいです。今後、より広がりを持った実技研修会が行えるように考えていきたいです。

それぞれの教材作成の様子と、参加者がアンケートに書かれたことをまとめました。

A、ペコペコあおむし

みなさん熱心にはさみやセロテープを手に作られています。中には材料だけでもいただいて帰りたいという方や、それがだめだとわかると、材料の寸法をものさしで熱心に図って、学校で作りたいという方が多くおられました。月曜日から曜日にちなんだ食べ物が、引き出されてくるのがおもしろく、応用して学校で作りたいと思われているようでした。収納すると小さくなります。

B、お手軽タイムタイマー

参加者みんなそれぞれ必死に作られていました。作業していて困られた様子や不安そうな様子を見せている方もいましたが、周りの方に教えてもらいながら作っていらっしやいました。

C、数博士

参加された方の中には、難しいのかな？ と不安そうにいられたかもおられましたが、前で説明しながら手順を教えたのが解りやすく、よかったです。出来上がりを皆さん喜んでおられました。

D、卵を生むにわとり

愛らしい表情のにわとりの口にビー玉を入れるとポッコリかわいい卵が…

厚紙を切るのに四苦八苦しながら、子供たちの驚く顔を思い浮かべながらの制作でした。

E、パタパタ

参加された方みなさん一生懸命に作っておられました。少し時間が短いのが残念でした。時間がなかったもので、最後に絵を入れての完成を見られなかったことが残念でした。絵を最初に選んでもらってからスタートすればよかったかな、と思いました。





F、アトラクショングッズ

講師の先生のデモンストレーションから始まりました。最初にプラスチックのボールをふたつ合わせたくす玉が割られました。ボールで作ったくす玉の下につけられた紐を引くと、楽しい音楽が流れ、垂れ幕が下りてきました。次にペットボトルクラッカーです。ペットボトルを足で強く踏むと紙吹雪が出てきました。

その後、参加された先生方が作り始めました。ドライバーで部品を取り付けていますが、なかなか上手く出来ません。となり同士で手伝い合っている人たちもいました。ドアセンサーメロディーをつけている時に鳴り響く音楽、ドライバーを回す時にプラスチックのボールとふれあう時に出る音など、にぎやかな雰囲気の中で作業が続けられました。みんな子ども達の楽しそうな顔を思い浮かべながら、作っていました。

G、三匹のこぶた

牛乳パックにオオカミ、子ぶたたちをはりつけると、小劇場の出来上がり。お話を語りながら、オオカミになったり、子ぶたになったり、子どもたちも楽しめそうです。参加された方たちが見通しを持って作業しておられました。



H、子どもと作る簡単おもちゃ

折り紙プロペラは簡単ですぐできるから、ちょっとした時間にできる！と好評でした。

割り箸風車は作るのは簡単でしたが、回し方に少しコツがいり、童心に戻って、皆さん必死でゴシゴシこすってらっしゃいました。あっという間に終わった感じでした。もっと教えてもらいたい！という雰囲気でした。



2011年 実技研修会 参加された方のアンケートから

A、ペコペコあおむし

- ◎ かわいい絵に興味深くすぐできました。最後のオチの部分を、さなぎの顔で寝ている絵にして、おしりをひっこませ、裏から羽が出てきてきれいな蝶にするような工夫ができれば、もう少し子どもが納得するオチの絵になるのでは、と思いました。
- ◎ 話が進むと同時にあおむしが大きくなっていくのを見て、子どもたちはクイズを解くように楽しんで聞いてくれるだろうなあと思いました。簡単な仕組みでも知っておいたらほかの場面でも利用できそうです。絵もかわいくて色づかいがきれいでよかったです。
- ◎ 手軽にできて、とてもかわいい教材です。折り方を工夫しただけでひっかかりができて抜けないのはいいアイデアだと思いました。赤や緑の色が鮮やかで子どもたちも喜ぶと思います。

B、お手軽タイムタイマー

- ◎ 工作が苦手で作るのがたいへんでしたが講師の先生はじめ先生方は親切に教えてくださいました。しかし、もろいものなので、生徒が実際触ったら、こわれそう。
- ◎ ほとんど準備していただいていたのでよかったです。用意されるのが大変だったと思います。でもこわれたらどうやってなおそう… 時間がかかっても自分で作るほうがよいのか？
- ◎ 声の録音機能がついているので、子どもたちに考えてもらい、自分の声で終わりを知らせることができるのでよかったです。
- ◎ 最初、説明を一気にされたので、まず「切り取る」、次に…、と一つひとつ作業を確認してすすめていってほしいと思った。秒針もあつたらいいと思った。
- ◎ 想像していた以上のものでした。同じ材料費で作るように言われてもとても作れるようなものではありません。見た目もきれいなので早速2学期から使ってみようと思います。

C、数博士

- ◎ 作りがいがありました。手順が細かく書かれていて教えていただき何とかできました。2学期に2けたの数をするのですぐに役立ちそうです。
- ◎ 基板を用意していただいたので助かりました。くり上りを学習しようとする子どもたちに使ってみたいです。

- ◎ 作業が難しいのかなとドキドキしていましたが、先生がコツを教えてください、
「ゆっくりでいいですよ」の声かけして下さったりと、とても安心してできました。

D、卵を生むにわとり

- ◎ とても面白いアイデアだと思います。えさのビー玉を入れる時に、1つずつ数えながら入れると数の勉強にもなりますし、卵が出てくるところがすごいです。子どもの興味をひくと思います。
- ◎ かたい厚紙でしたが、ほとんど切って準備していただいていたので、何とか時間内に作ることはできましたが、ご準備大変だったと思います。

E、パタパタ

- ◎ ずいぶんややこしかったですが、やっと納得しました。
- ◎ 時間が短かったのが残念です。ゆっくり時間をかけて完成させたかったです。

F、アトラクショングッズ

- ◎ 事前準備で炭酸飲料の2ℓのペットボトルがなかなか見つからなく1.5ℓのものしか準備できなかった。スポンジタイプの両面テープは初めて知って勉強になった。
- ◎ とても面白い教材です。時間が足りないのが残念！
- ◎ 難しく時間内には終わらなかった。補助の先生の助けが必要だと思った。

G、三匹のこぶた

- ◎ 以前見せていただいたことがあり、作り方がわからなかった教材でした。3匹の子ぶたが大好きな子で、ことばが出ない子がいて、吹くという練習にもなり、とてもうれしい教材です。
- ◎ 私のくっつけ方がよくなかったのか、風のあたり所がずれるとなかなか倒れにくいなと思いました。改良して少し吹いたら倒れるようにして、口のトレーニングが必要な子どもたちと遊んでみたいと思います。
- ◎ 息を吹くという動作の練習にもなり、他の話でも応用できるなあと思いました。

H、子どもと作る簡単おもちゃ

- ◎ 短時間でたくさん作れて面白かったです。
- ◎ 簡単にできるおもちゃばかりで楽しかったです。竹とんぼをぜひ一緒に作ってみます（とばすのも手の動きが簡単でいいですね）

- ◎ すぐ作れて楽しくうれしくなりました。保護者とともにやってみてもよさそうです。
- ◎ 2学期の図工や社会の時間の昔遊びのときに作ってみると楽しいなと思いました。

この研修会の運営全体について（申し込み、準備、当日、…）

教材によって仕上がりの時間に差があったので、早くできたグループがほかの教材作成などできるようになればいいと思う。

この会場は明るくないので細かい作業には不向きだった。もっと明るく汚してもいいような会場がいいと思う。

メールで申し込めたので手間がかからず便利だった。返事をすぐもらえてよかった。

Web 一本の申し込みで、その時点での応募状況もわかりよかったです。

持ち物を忘れてしまったのにスタッフの人に借りることができてよかった。

ほかの教材の作り方も知りたいです。

2つだけでなく、もう少し作りたかった。

書籍の販売を休憩時間にされなかったのは何か理由があったのですか？ 見てみたかったです。

大きな1つの会場で4講座はよくないと思いました。講師の方の声が聞こえにくいので、部屋を分けてほしい。

材料についても最低限の作業だけでいいように準備していただいていたおかげでスムーズに製作することができました。

大支援研として、これからどのような研修・取組を行えばいいだろうか…

これからも実技研修を続けて行ってほしいです（同様の意見が多くありました）

時間をかけていろいろな教材を選んで作れるような研修に期待します。

作った教材の実演と、その目的（理論）など 例えば三匹の子ぶたと発声指導など 歌・数・ことば・絵・動きなどの遊びをいろいろ教えてもらえるとうれしいです。

授業の初めにする手遊び、支援学級の子ども同士、支援学級と通常学級の子どもたちをつなぐ集団遊び等を教えてほしいです。

昨年のように、遊びや教材の紹介もしていただいたらうれしいです。

できれば1日の研修にしてほしい。昨年の午前の部がとてもよかったです。

絵本を集団（5～10名程度）で読み聞かせする時の工夫・アイデアがあれば知りたい。

子どもの喜ぶゲームや手遊び、学習につながる遊びなどを教えていただきたいです。

WISC-III (IV) や、K-ABC などについての研修会も企画していただけると嬉しいです。

2011年度 行事部主催 施設見学会報告《株式会社あしすと阪急》

平成23年(2011年)8月18日(木) 13:30～16:00

「株式会社あしすと阪急」は、平成17年(2005年)4月、将来にわたり阪急阪神ホールディングスグループ全体で障がいを持つ人の雇用機会を創出し、障がいを持つ人の雇用に取り組んでいく体制を構築することを目的に設立されました。場所は、阪急梅田駅にほど近い阪急本社ビル内にあります。

あいさつの中で、障がい者雇用を高めるため職域を増やすなど、社会参加の場を増やしていく事が企業の担う役割であると明言され、知的障がい、身体障がい、精神障がい、発達障がいの方々にどんな職を提供していけるかを考えておられるということでした。

会議室で説明の後、実際に働いている様子を見学し、その後質問に答えていただきました。

I、説明概要

＜特例子会社 株式会社あしすと阪急＞ 親会社は阪急阪神ホールディングス株式会社
グループの発展に貢献するとともに、社会に貢献すること、社員全員が仕事を通じて成長していくことを目指している。行動規範(1信頼される行動、2お客様に満足を、3失敗を恐れず、4自らの成長を楽しもう)を名札ケースに入れ、常に携帯している。



従業員 59名。内42名が、障がい者 平成23年(2011年) 7月現在

・清掃事業部 40名 ・ジョブアシスト事業部 16名 ・総務部 3名

清掃事業部は、本社ビル・ハービス・社員寮・北阪急ビル・アプローズタワーなど阪急阪神ホールディングスのグループ内の、トイレ、廊下、事務所の一部の清掃業務を担当している。各チームに健常者スタッフを1～2名配置している。ジョブアシスト事業部は、本社内の郵便物等配送事業・仕分け発送業務、グループ各社の業務支援事業として名刺や配布物などの印刷・帳合い(異種プリントのセット)、他に磁気カード(ラガールカード)や切符造など券造業務を行っている。

阪急阪神ホールディングスのグループ全体(約20000人)での障害者雇用率は1.92%(2011年6月)である。

＜運営体制＞

常にコミュニケーションを図り、明るい社風づくりを目指している。

(1)社内におけるコミュニケーション。

障がい者職業生活相談員の資格取得や、ジョブコーチを配置してコミュニケーション力の向上を行っている。

(2)阪急阪神ホールディングスグループ各社とのコミュニケーション

レールウェイフェスティバルで出店(2011. 5. 8)。

(3)障がい者雇用企業及び障がい者関連組織とのコミュニケーション。

＜主な行事＞

- ・ 保護者を交えての親睦旅行。(今年は、太秦映画村)
- ・ 支援月間ポスター応募(2011. 6. 17)
- ・ アビリンピック大阪大会(2011. 7. 15)
- ・ ご家族連絡会(2011. 7. 19)
- ・ 安全衛生教育(2011. 7. 20、26)—健康づくりのための食生活

<業務風景のビデオ上映>

- ・トイレ・給湯室・喫煙室の掃除・紙・段ボールの仕分け。
- ・午後6時以降の執務室の掃除・券造業務(枚数・不具合のチェック)。



II、見学会

メールセンターでの郵便物の仕分け作業と印刷業務、券造室での作業、いつもは午前中に行っている清掃業務を見学し、説明を受けました。

III、質疑応答

<勤務時間？ 作業する上での工夫は？>

- 7:15～ 7:30 出社、打ち合わせ。
- 7:30～11:30 トイレ・廊下・給湯室の掃除・執務室の掃除
- 11:30～12:00 休憩
- 12:00～12:50 執務室の掃除
- 12:50～13:30 休憩・昼食
- 13:30～14:30 ゴミ集め
- 14:30～15:30 パトロール 終了



12:30～20:30 勤務の清掃業務グループが4名います。



仕事をする上で

- ・一人前(自信がつく)になるのに3ヶ月かかります。最初は一緒にサポートしますが、先輩や仲間同士の方が習得が早いです。
- ・作業は教えればできるが、先輩、仲間とうまくやっていけるかが一番重要です。
- ・あいさつ・返事は大きな声でスタートしています。

<雇用について 正社員？福利厚生は？>

- ・職安を通じての募集になるが、定期採用ではない。職域が広がるなど、職場が確保されてから募集している。募集対象は、過去に実習経験(インターンシップ制度・職場体験など)のある方に声をかけて、3ヶ月の研修、契約社員3年の後、正社員として採用している。福利厚生は同じです。

<あいさつ、人間関係づくり以外で、必要な事は何ですか？>

- ・あいさつ、返事、健康、毎日来ることができる。

<退職された方はいますか。その理由は？>

- ・60歳で定年の方、結婚された方、転職希望の方、身体の不調の方の4名。



<給与は？>

- ・時給800円でスタートしている。会社のねがいとしては、職場のリーダーに成長できるような人材を育成したい。そのためにも、給料制度の検討も考えている。

<通勤時間は？昼食は？>

- ・出勤時間が早いので、だいたい1時間以内が通勤圏(大阪市内、阪急沿線)です。
- ・昼食は、2階の社員食堂の利用やお弁当持参。

<発達障がいの方の採用は？>

- ・療育手帳・精神障害者手帳をもっている方を採用している。

<仕事上の工夫？>

- ・初めは、パウチしたメモ書きを利用して、手順を順番通り覚えるようにしている。
- ・掃除箇所によって、使用するタオル・雑巾を色分けしている。

IV、お礼の挨拶 大阪府支援教育研究会 副会長大角先生

以上 大阪府支援教育研究会 行事部

～参加者の感想～

- ・働く中で成長させていくという「あしすと阪急」の姿勢がとても感銘を受けました。どうい子どもたちが社会の中で求められているのかということもとても具体的に教えていただき、これからの教育実践に生かしていきたいと思います。
- ・仕事をされている方がとても丁寧に、自分の仕事に責任を持って取り組まれているところを見学することができてよかったです。将来自分の仕事に責任を持ち、社会人としての力を身に付けられるように私も子どもたちと接していきたいと思いました。
- ・まだまだ小学校の子どもたちのことを考えたら・・・と思いながら学校卒業後の姿を考えたら、普段の学習の中にコミュニケーション活動ややり取りする場面をもっと増やしていかなければと思いました。子どもに寄り添い、人と一緒にがんばれる力を付けていくには・・・とこれからも支援していきたいと思います。ありがとうございました。
- ・学校を出た後の社会進出を考えると、本日見学させていただいたあしすと阪急様のような企業がもっと増えてほしいと感じました。障がいの有無に関わらず、責任を持たせて働かせてもらっていることを素晴らしいと感じました。また、あいさつの大切さ、やはり普段の指導は間違っていないと心強く感じ、これからもしっかりやっっていこうと思えました。
- ・きれいな職場で働けることはいい環境であると思います。指導的立場の方々の日々の努力は大変なものであろうと思われませんが、一つ一つの仕事にきちんと対応している様子には驚かされますね。まだまだ少ない雇用だと思いますが、今年度よりも増員できていきますよう願っています。
- ・実際に障がいの方が働く現場を見学させていただいたのは今日が初めてでした。「将来は就労を希望しています」という保護者の方がおり、それに向けて今子どもたちになにをしていけばよいのかというヒントがたくさんいただけたように思います。雇用する側が何を望んでいるのかそれを知ることのできた見学会でした。ありがとうございました。
- ・就労施設(企業)を見る機会が今まで全くなかったので本当に勉強になりました。それぞれの企業が障がい者雇用を受け入れていることを知っただけでも保護者との対応の幅が広がると思います。
- ・障がいのある方の就労しているところを見ることができ、また障害者雇用をしている会社のお話が聞けてとても勉強になりました。子どもたちの将来の自立という見通しを持って教育していきたいと改めて考えさせられました。障がいのある子の進路について詳しく知ることが大事だと感じました。

平成23年 9月 8日

各 学 校 長 様
支援教育関係者 様

大阪府支援教育研究会
会 長 藤 原 義 彦
(堺市立浅香山中学校)

冬 季 研 修 会 の ご 案 内 (一次案内)

大阪府支援教育研究会主催で、以下の要項で冬季研修会を実施いたします。
現在、講座の内容・講師等についての検討をすすめております。
詳しい内容および申し込み方法については、後日、二次案内でお知らせいたします。
ふるってご参加ください。

記

- (1) 日 時 平成24年(2012年) 2月 4日(土) 午前10時～午後4時
午前の講座(10時30分～12時30分)
午後の講座(午後2時～4時)
- (2) 場 所 たかつガーデン
大阪市天王寺区東高津町7-11 TEL (06)6768-3911
- (3) 内 容 午前・午後 それぞれ いくつかのテーマ別講座を実施いたします。
詳しい内容は二次案内でお知らせします。
- (4) 詳細および申し込み方法
後日、二次案内でお知らせいたします。(12月上旬を予定しています)
大支援研のHPおよびニュースをご参照ください。
<http://daishienken.visithp.com/>
- (5) 問い合わせ先 大阪府支援教育研究会 書記(研修部担当) 佐藤正幸
摂津市立第四中学校 TEL 06-6349-6181
FAX 06-6349-6184

平成23年10月1日

関係機関長 様

大阪特別支援教育推進連盟
理事長 南 良知

大阪特別支援教育推進連盟
平成23年度実践記録論文の募集案内

日頃は、大阪の特別支援教育の推進・充実に何かとお力添えをいただき厚くお礼を申し上げます。

さて、本年も標記のとおり障害児（者）の福祉・教育に携わる方々の実践記録論文を下記の要領で募集いたします。

つきましては、関係者へのご周知、ご奨励をよろしくお願い申し上げます。

記

平成23年度実践記録論文募集要領

- 1 内 容 福祉施設・学校等で障害児（者）と共に歩んでいる方々の日ごろの実践のまとめ
- 2 方 法 A4版で本文を5000字程度（ワープロ可）写真、グラフ、図等の挿入も可
具体的な実践論文の書き方については、別記を参照してください
審査の都合上、6部コピーして送付してください
- 3 締 切 平成24年1月13日（金）
- 4 送り先 大阪特別支援教育推進連盟事務局
〒535-0022 大阪市旭区新森6-8-21
大阪市立光陽特別支援学校内 TEL06-6953-4022
- 5 表 彰 優秀作品には、賞状及び記念品を贈呈します。
- 6 表彰式 平成24年2月24日（金） 15時 ～16時30分
たかつガーデン（大阪府教育会館）
大阪市天王寺区東高津町7-11 TEL06-6768-3911

実践論文の書き方（例） —— 実践論文の構成と記載概要 ——

- A4版で本文を5000字程度（ワープロ可）
- 写真、グラフ、図等の挿入も可
- 表紙に、題目（テーマ）、所属、氏名（グループ名）を記載

<実践論文の題目（テーマ）>

- ・ 論文の内容が推測できるキーワードも含め、題目を40文字程度で標記する。

<要約>

- ・ 論文の概要が分かるよう500文字程度に簡潔にまとめる。

<目次>

- ・ 大項目、小項目を記し、ページを記す。

<序論>

- ・ この論文を書くに至った経緯、この内容を取り上げるに至った背景・理由を記す。
- ・ 取り上げた対象の実態、取り上げた児童・生徒（障害者）の実態、及び児童・生徒（障害者）を取り巻く状況を記す。

<実践＝取り組み>

- ・ 具体的な実践記録を、大項目、小項目を付して分かりやすく記す。

<結果と考察>

- ・ 実践を通して明らかになったこと、課題、今後どのような点に活かせるか、など実践全般を通しての総括的なまとめを記す。